

2021年3月期 第3四半期決算説明資料

証券コード：5332

2021. 1.29

目次

1. 2021年3月期 第3四半期決算

2. トピックス

3. 2021年3月期 修正計画

ハイライト

上期の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収減益

グローバル住設事業（日本）：減収減益

- ◆ 3Q累計では上期の新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収減益。
- ◆ 3Q（10月～12月）ではリモデル事業が好調に推移し増収増益。

グローバル住設事業（海外）：減収増益 * 1月～9月（インド除く）

- ◆ 中国は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収も、足下では回復し増益。
- ◆ アジアはベトナム等における新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減収も、台湾が堅調で利益横ばい。
- ◆ 米州は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、ウォシュレット及び非接触商品の販売増により増収増益。

新領域事業：増収黒字化

- ◆ セラミック事業は半導体市場の需要増により増収増益。

2021年3月期 第3四半期決算

P/L概要

単位：億円

	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
売上高	4,492	4,198	▲293 (▲7%)	▲332	+39 (+1%)	▲275 (▲6%)	4,088	+110 (+3%)
営業利益 【営業利益率】	299 【6.6%】	277 【6.6%】	▲21 (▲7%)	▲92	+71 (+24%)	▲19 (▲6%)	224 【5.5%】	+53 (+24%)
経常利益	310	262	▲48 (▲15%)	▲95	+47 (+15%)	▲38 (▲12%)	219	+44 (+20%)
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	217	155	▲62 (▲29%)	▲84	+22 (+10%)	▲53 (▲24%)	122	+33 (+27%)

■為替レート

	2019年度 1Q	2019年度 2Q	2019年度 3Q	2020年度 1Q	2020年度 2Q	2020年度 3Q
1ドル	110.2円	109.9円	107.4円	108.9円	107.6円	106.2円
1元	16.3円	16.1円	15.3円	15.6円	15.2円	15.4円
1ユーロ	125.2円	123.5円	119.4円	120.1円	118.6円	124.1円

2021年3月期 第3四半期決算

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2019年度	2020年度	前年差 (前年比)	コロナウイルス	コロナウイルス影響額除	為替影響除 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
	3Q累計	3Q累計		影響額	(前年比)			
住設事業 (日本)	3,326	3,043	▲283 (▲9%)	▲215	▲68 (▲2%)	▲283 (▲9%)	2,935	+108 (+4%)
住設事業 (海外)	988	965	▲23 (▲2%)	▲111	+88 (+9%)	▲6 (▲1%)	963	+1 (+0%)
新領域	177	189	+12 (+7%)	▲7	+19 (+11%)	+14 (+8%)	188	+1 (+0%)
その他	2	2	▲0	-	▲0	▲0	2	+0
合計	4,492	4,198	▲293 (▲7%)	▲332	+39 (+1%)	▲275 (▲6%)	4,088	+110 (+3%)
<営業利益>	2019年度	2020年度	前年差 (前年比)	コロナウイルス	コロナウイルス影響額除	為替影響除 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
	3Q累計	3Q累計		影響額	(前年比)			
住設事業 (日本)	221	149	▲72 (▲33%)	▲66	▲6 (▲3%)	▲72 (▲33%)	103	+45 (+44%)
住設事業 (海外)	112	144	+32 (+28%)	▲24	+56 (+50%)	+34 (+30%)	138	+6 (+4%)
新領域	▲6	4	+10	▲2	+12	+10	2	+2
その他	▲28	▲19	+9	-	+9	+9	▲19	+0
合計	299	277	▲21 (▲7%)	▲92	+71 (+24%)	▲19 (▲6%)	224	+53 (+24%)

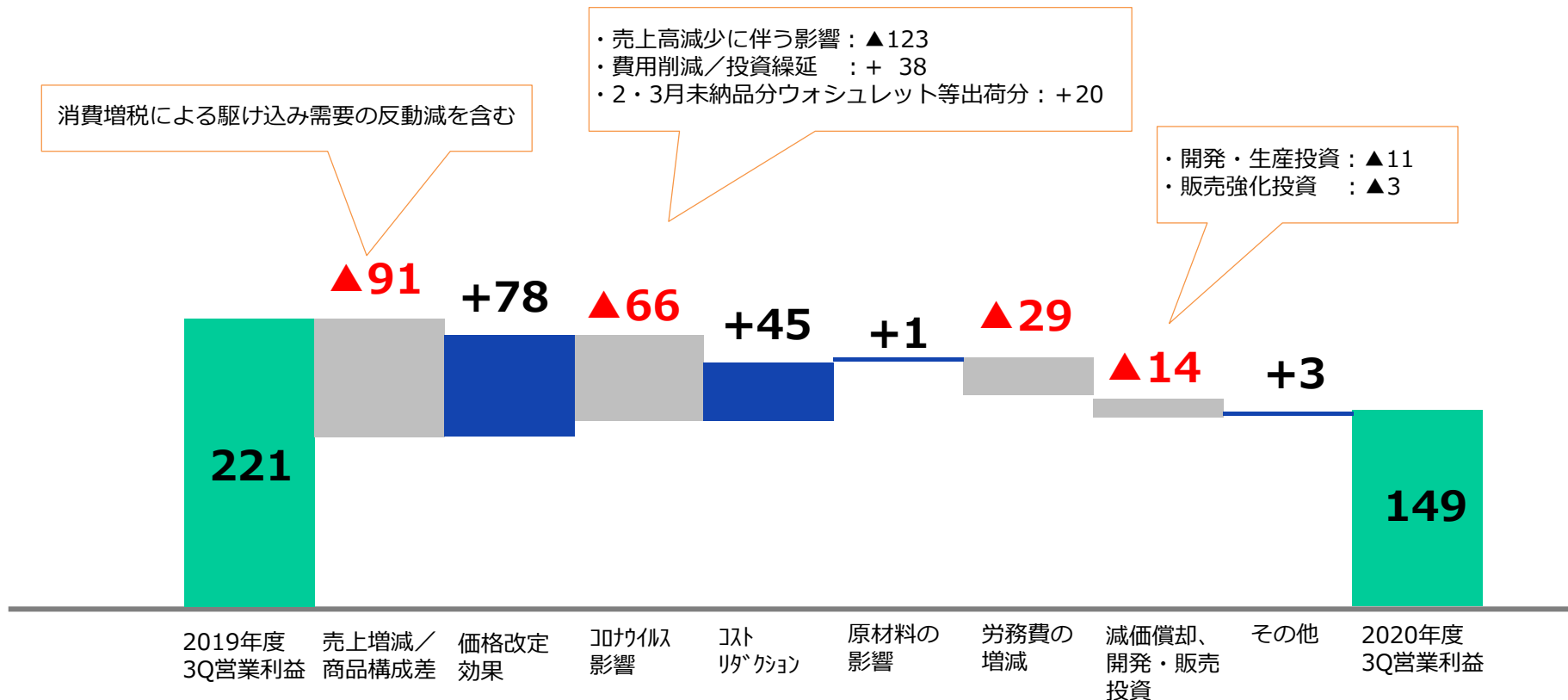
3Q累計では上期の影響が大きく減収減益であるものの、
3Qのみでは全セグメントで増収増益。

2021年3月期 第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

営業利益の増減要因（前年差異▲72億円の内訳）

単位：億円



計画	▲96	+74	▲97			+1			103
計画差	+5	+4	+31			+5			+45

2021年3月期 第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

需要別実績

単位：億円

<リモデル>

	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	2,288	2,119	▲169 (▲7%)	▲130	▲40 (▲2%)
営業利益	190	134	▲56 (▲29%)	▲53	▲2 (▲1%)
営業利益率	8%	6%	▲2pt	—	—

<新築>

	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	1,037	923	▲114 (▲11%)	▲85	▲29 (▲3%)
営業利益	31	14	▲17 (▲54%)	▲13	▲4 (▲13%)
営業利益率	3%	2%	▲1pt	—	—

リモデル・新築とも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、減収減益。
3Qのみでは、リモデルは非接触商品を中心として、住宅及び学校・病院等の非住宅が好調で増収増益。

2021年3月期 第3四半期決算

グローバル住設事業（日本）

商品別実績

単位：億円

<売上高>	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
衛生陶器	703	652	▲50 (▲7%)	▲47	▲3 (▲0%)
ウォシュレット	748	756	+9 (+1%)	+14	▲5 (▲1%)
水栓機器	667	612	▲55 (▲8%)	▲36	▲19 (▲3%)
浴室	802	661	▲141 (▲18%)	▲105	▲36 (▲5%)
キッチン・洗面	351	307	▲43 (▲12%)	▲38	▲5 (▲2%)
その他	56	53	▲2 (▲4%)	▲3	+1 (+1%)
合計	3,326	3,043	▲283 (▲9%)	▲215	▲68 (▲2%)

<営業利益>	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除
衛生陶器	54	30	▲23	▲24	+1
ウォシュレット	101	119	+18	+16	+3
水栓機器	41	30	▲11	▲9	▲2
浴室	26	▲5	▲31	▲33	+1
キッチン・洗面	6	▲10	▲16	▲14	▲1
その他	▲7	▲16	▲9	▲1	▲8
合計	221	149	▲72	▲66	▲6

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、ウォシュレット以外は減収減益も、3Qに入り全ての商品で大幅回復。

2021年3月期 第3四半期決算

グローバル住設事業（海外）

単位：億円

売上高	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス	コロナウイルス影響額除	為替影響除 前年差 (前年比)
				影響額	前年差 (前年比)	
中国	496	480	▲16 (▲3%)	▲37	+21 (+4%)	▲3 (▲1%)
アジア	220	200	▲20 (▲9%)	▲46	+26 (+12%)	▲21 (▲9%)
米州	243	255	+12 (+5%)	▲24	+36 (+15%)	+16 (+7%)
欧州	29	30	+1 (+2%)	▲4	+4 (+15%)	+1 (+3%)
合計	988	965	▲23 (▲2%)	▲111	+88 (+9%)	▲6 (▲1%)
営業利益	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス	コロナウイルス影響額除	為替影響除 前年差 (前年比)
				影響額	前年差 (前年比)	
中国	76	92	+15 (+20%)	▲1	+16 (+21%)	+18 (+23%)
アジア	36	36	+0 (+0%)	▲19	+20 (+54%)	▲1 (▲2%)
米州	7	22	+15 (+204%)	▲3	+18 (+242%)	+15 (+208%)
欧州	▲7	▲6	+2	▲1	+3	+2
合計	112	144	+32 (+28%)	▲24	+56 (+50%)	+34 (+30%)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収も、
米州のウォシュレット販売拡大等により増益。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）（1月～9月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万元

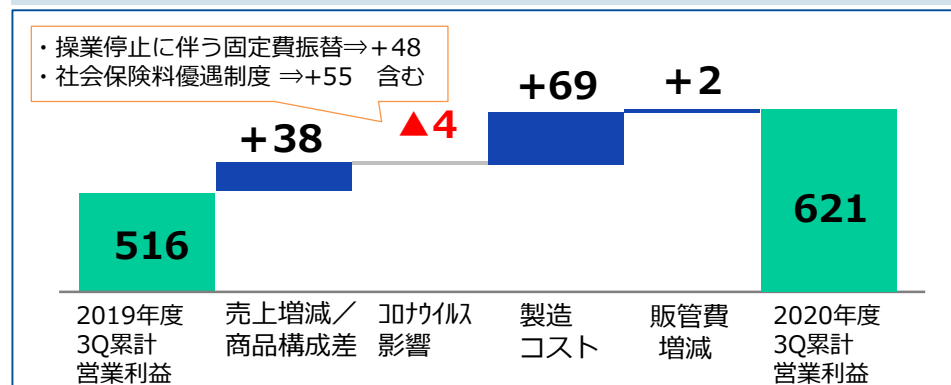
	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	3,113	3,120	+7 (+0%)	▲217	+224 (+7%)
営業利益	516	621	+105 (+20%)	▲4	+109 (+21%)
営業利益率	17%	20%	+3pt	-	+2pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+21%

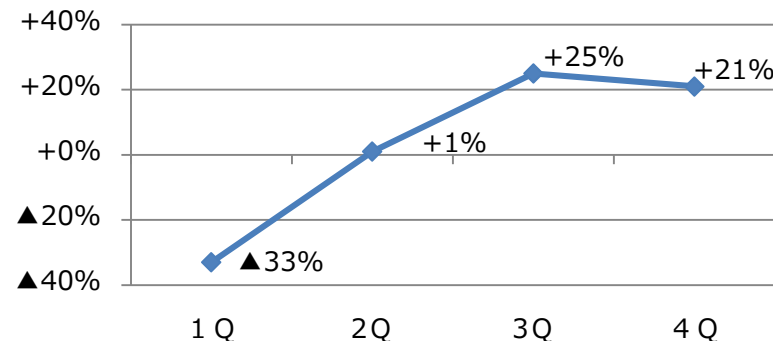
為替レート	2019年度 3Q	2020年 3Q
1円	15.3円	15.4円

営業利益の増減要因

単位：百万元



売上高推移（前年比）



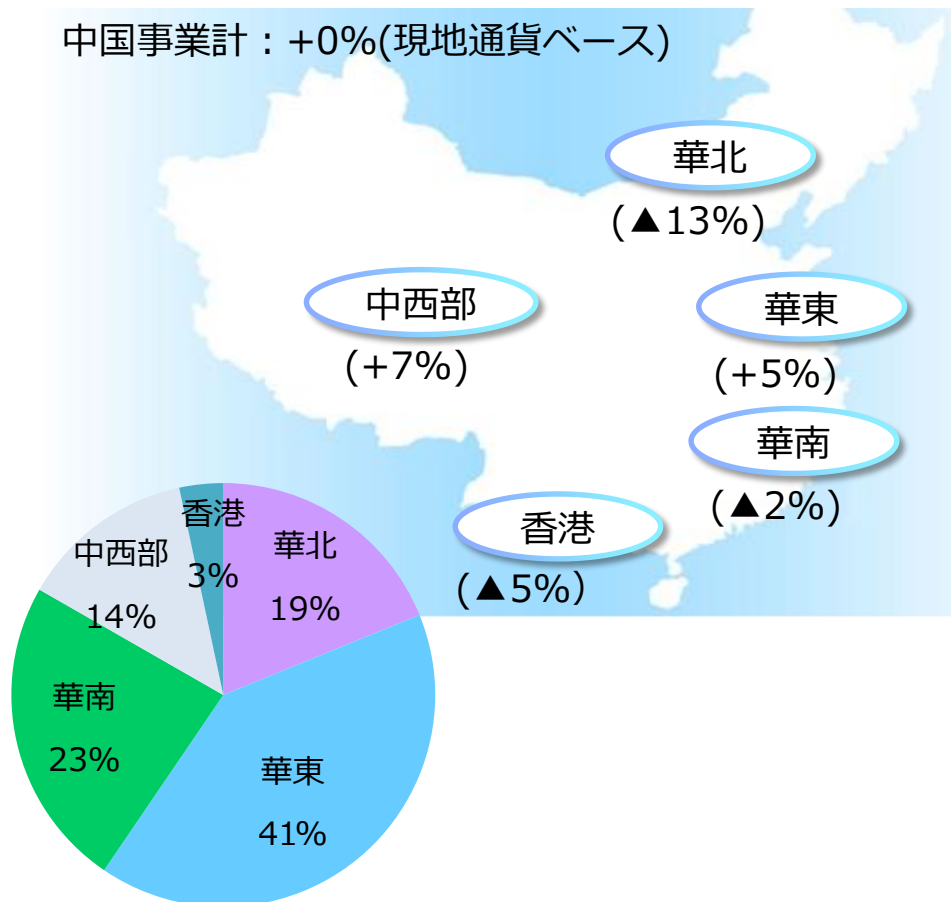
第1四半期の新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復し、増収増益。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（中国）（1月～9月）

■ 地域別の売上高伸長率

中国事業計：+0%（現地通貨ベース）

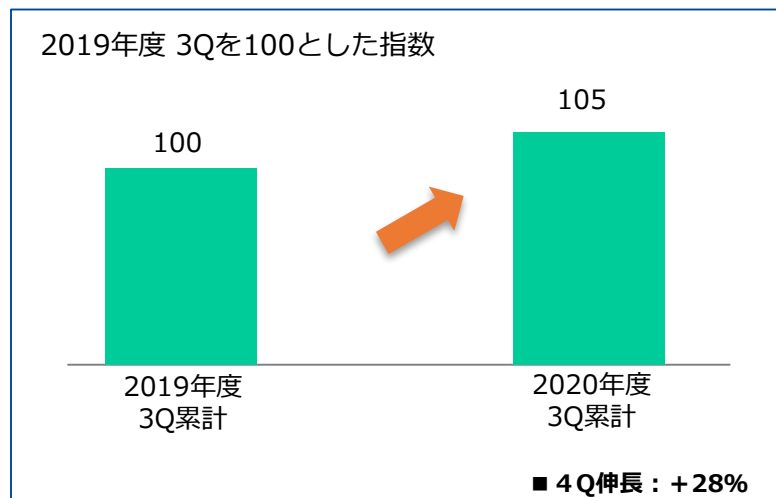


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲6%
ウォシュレット	+5%
水栓金具	+4%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



新型コロナウイルス感染症拡大の影響から回復し、
3Qに入り、全商品・全エリアで前年超え。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（アジア・オセアニア）（1月～9月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

売上高
エリア別内訳

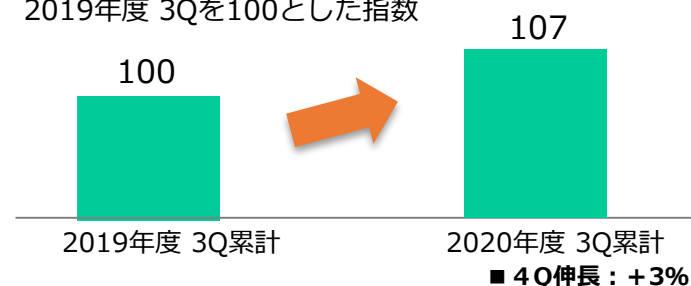
台湾	ベトナム	その他
54%	25%	21%

単位：百万台湾ドル

台湾	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	2,663	2,972	+309 (+12%)	-	+309 (+12%)
営業利益	613	816	+202 (+33%)	-	+202 (+33%)
営業利益率	23%	27%	+4pt	-	+4pt

■ウォシュレット販売台数の伸長

2019年度 3Qを100とした指数



第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は、前年同期比+2%

単位：10億ドン

ベトナム	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高 <small>〔外部顧客売上高〕</small>	2,750 〔1,228〕	3,039 〔1,068〕	(+10%) (▲13%)	▲477 〔▲477〕	(+28%) (+26%)
営業利益	345	298	▲47 (▲14%)	▲209	+162 (+47%)
営業利益率	13%	10%	▲3pt	-	+2pt

第4四半期(10月～12月)の外部顧客売上高伸長率は前年同期比▲38%

為替レート	2019年度 3Q	2020年度 3Q
1台湾ドル	3.44円	3.62円

為替レート	2019年度 3Q	2020年度 3Q
1ドン	0.00460円	0.00458円

台湾は新型コロナウイルス感染症拡大の影響は無く、増収増益。
ベトナムは増収減益。外部顧客売上高は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）（1月～9月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P/L

単位：百万ドル

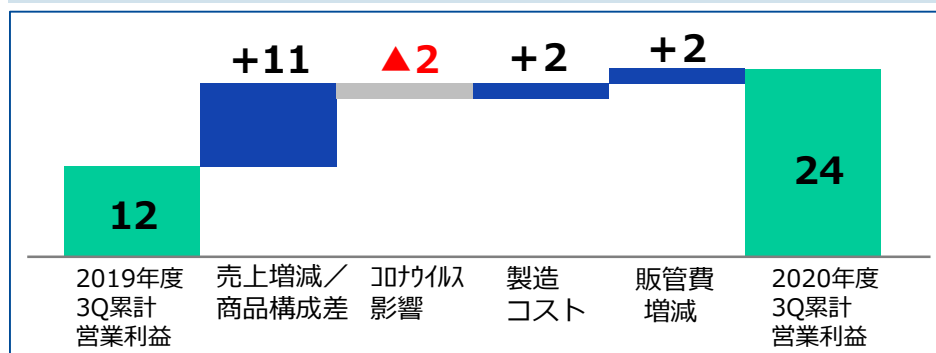
	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	222	237	+15 (+7%)	▲21	+36 (+16%)
営業利益	12	24	+12 (+99%)	▲2	+14 (+119%)
営業利益率	5%	10%	+5pt	-	+5pt

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+31%

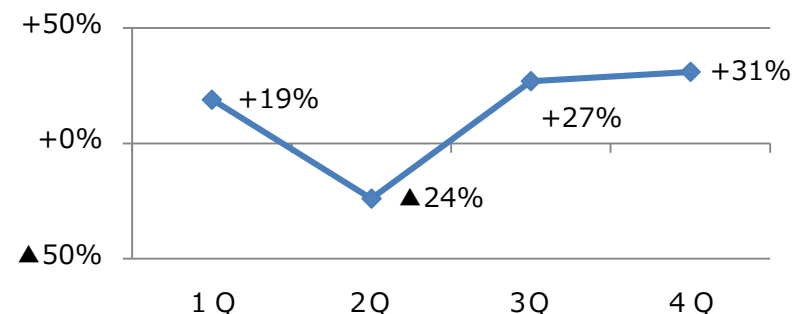
為替レート	2019年度 3Q	2020年度 3Q
1ドル	107.4円	106.2円

営業利益の増減要因

単位：百万ドル



売上高推移（前年比）



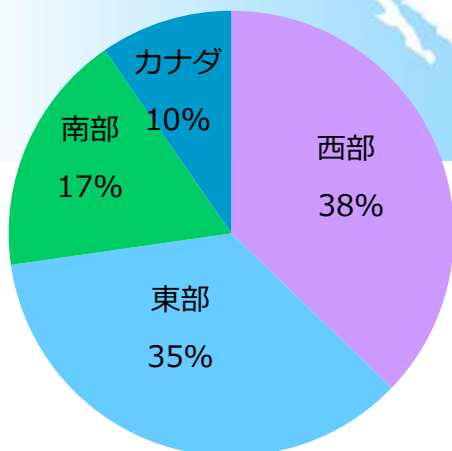
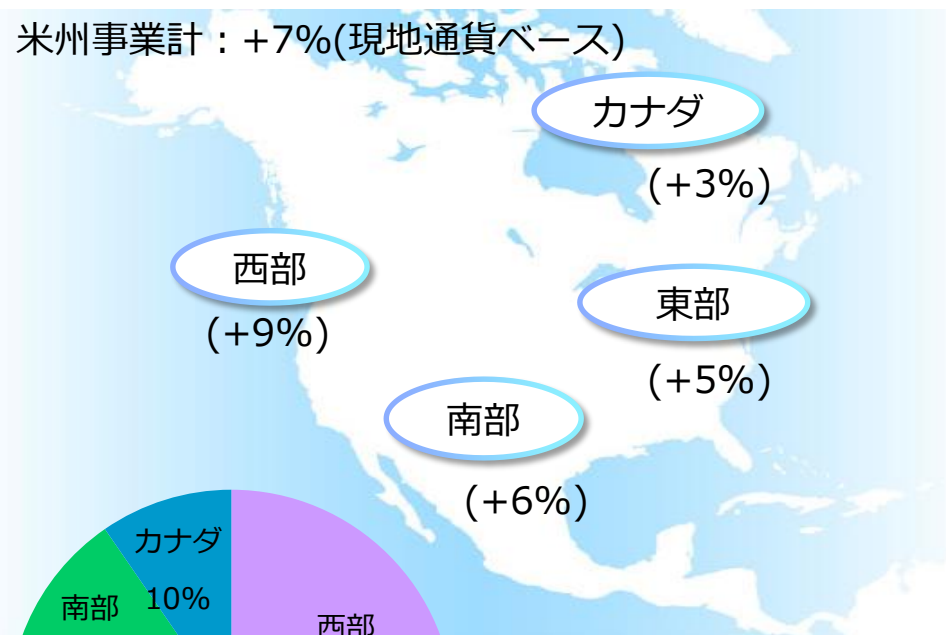
新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものの、
ウォシュレット及び非接触商品の販売増等により増収増益。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（米州）（1月～9月）

■ 地域別の売上高伸長率

米州事業計：+7%（現地通貨ベース）

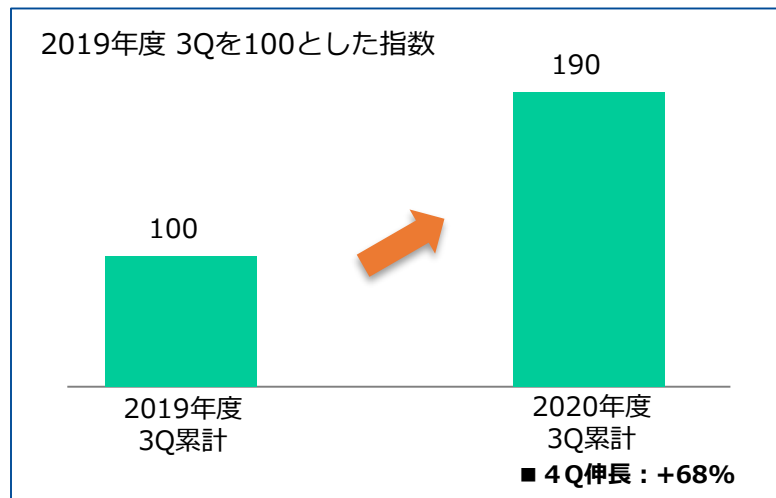


■ 地域別の売上高構成比

■ 商品別の売上高伸長率

	伸長率
衛生陶器	▲8%
ウォシュレット	+47%
水栓金具	+4%

■ ウォシュレットの販売台数伸長



全エリアで増収。商品別ではウォシュレットが前年を大きく上回った。

2021年3月期 第3四半期決算

現地グループ会社の業績（欧州）（1月～9月）

※連結調整、共通費の配賦等は含まないベース

P / L

単位：百万ユーロ

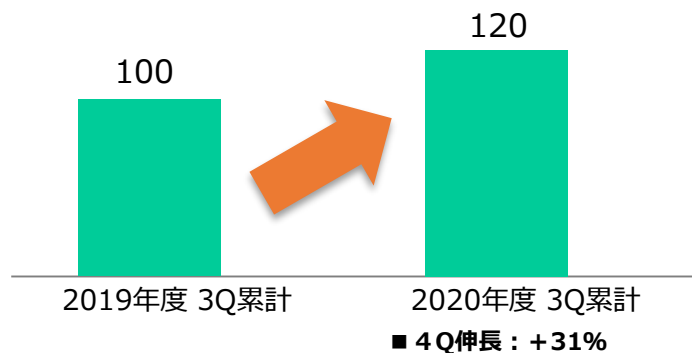
	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)
売上高	22	23	+0 (+1%)	▲3	+3 (+15%)
営業利益	▲6	▲3	+3	▲1	+4

第4四半期(10月～12月)の売上高伸長率は前年同期比+24%

為替レート	2019年度3Q	2020年度3Q
1ユーロ	119.4円	124.1円

■ウォシュレットの販売台数伸長

2019年度 3Qを100とした指数



増収赤字幅縮小。引き続き流通構築と著名物件採用を推進。

2021年3月期 第3四半期決算

新領域事業

セラミック事業

単位：億円

	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
売上高	119	144	+25 (+21%)	-	+25 (+21%)	+27 (+23%)
営業利益	▲2	8	+10	-	+10	+10

環境建材事業

単位：億円

	2019年度 3Q累計	2020年度 3Q累計	前年差 (前年比)	コロナウイルス 影響額	コロナウイルス影響額除 (前年比)	為替影響除 (前年比)
売上高	58	44	▲13 (▲23%)	▲7	▲6 (▲11%)	▲13 (▲23%)
営業利益	▲4	▲4	▲0	▲2	+2	▲0

セラミック事業は半導体市況の回復により増収黒字化。

目次

1. 2021年3月期 第3四半期決算

2. トピックス

3. 2021年3月期 修正計画

社外からの評価

- 「Dow Jones Sustainability World Index (DJSI World)」の構成銘柄に選定（9回目）

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

DJSIとは：

S&P Global 社が運営する株式指標で、経済・環境・社会の3側面から企業の持続可能性を評価。2020年は、世界約3500社を対象に調査を実施。

TOTOは323社のうちの1社として「DJSI World」に選定された。（日本企業：39社）
建設製品セクターの中で、情報／サイバーセキュリティ、環境報告、リサイクル戦略、水関連リスク、社会報告、人材開発、企業市民活動の7項目において、最も高い評価を得た。

社会が求める価値ある商品やサービスの提供により、持続的な収益成長を果たすとともに、さまざまなCSR活動の推進を通じ、国連によるSDGsの目標達成に貢献していく。

社外からの評価

■「ウォシュレット」が「日本ネーミング大賞 2020」優秀賞を受賞

1980年に発売し、累計出荷台数が5,300万台を突破したウォシュレットが、「日本ネーミング大賞 2020」家電・ゲーム部門の優秀賞を受賞。

評価のポイント：

クリエイティビティも高く、カテゴリーを代表する商品名としての世の中への浸透力」および「国際的に通用するネーミングとして“ネーミングの重要性”を掘り起こすことができた2020年に讃えるべきネーミングである点。



JAPAN NAMING
AWARD 2020



■ウォシュレット一体形便器「ネオレスト」シリーズが累計出荷台数300万台突破



業界に先駆けて、温水洗浄便座が一体となった、ローシルエット形状のトイレとして1993年に発売。以降、TOTOの最新技術を搭載し、機能・デザインともに進化を続けている。

トピックス

世界最大規模の技術見本市「CES 2021」に出展

Consumer Technology Association（全米家電協会）が主催する
先進的な技術やイノベーターの発表の場
「CES 2021」に出展（2021年1月11日～14日：オンライン開催）



水まわり設備機器メーカーとして100年に渡って取り組んできた、
衛生・清潔・快適な生活に貢献する技術革新を世界に広めていくことを、
「TOTO CLEANOVATION」のメッセージで訴求。

“健康”という新たな生活価値創造をめざす「ウェルネストイレ」の取り組みを初表明。

目次

1. 2021年3月期 第3四半期決算

2. トピックス

3. 2021年3月期 修正計画

ハイライト

**第3四半期の実績と足下の状況を踏まえ、
第2四半期発表時（10月30日）の通期計画を上方修正。**

修正計画：売上高：5,800億円 営業利益390億円

売上高：170億円の上方修正（5,630億円 → 5,800億円）

営業利益：80億円の上方修正（310億円 → 390億円）

上方修正のセグメント別内訳

住設事業（日本）：売上高：+138億円

営業利益：+47億円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響はあるものの、
リモデルの売上高が堅調であるため。

住設事業（海外）：売上高：+27億円

営業利益：+30億円

中国及び米国が好調であるため。

2021年3月期 修正計画

P/L概要

単位：億円

	2019年度	2020年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響除 (前年比)	当初計画	計画差 (計画比)
売上高	5,965	5,800	▲165 (▲3%)	▲146 (▲2%)	5,630	+170 (+3%)
営業利益 【営業利益率】	368 【6.2%】	390 【6.7%】	+22 (+6%)	+24 (+7%)	310 【5.5%】	+80 (+26%)
経常利益	361	370	+9 (+2%)	+13 (+3%)	295	+75 (+25%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	236	240	+4 (+2%)	+7 (+3%)	175	+65 (+37%)
ROA	6.3%	6.5%	+0.2pt		5.2%	+1.3pt
ROE	7.0%	7.1%	+0.1pt		5.2%	+1.9pt

■為替レート

	2019年度 1Q	2019年度 2Q	2019年度 3Q	2019年度 4Q	2020年度 1Q	2020年度 2Q	2020年度 3Q	2020年度 4Q
1ドル	110.2円	109.9円	107.4円	108.8円	108.9円	107.6円	106.2円	104.5円
1元	16.3円	16.1円	15.3円	15.4円	15.6円	15.2円	15.4円	15.8円
1ユーロ	125.2円	123.5円	119.4円	120.3円	120.1円	118.6円	124.1円	124.6円

2021年3月期 修正計画

セグメント別業績

単位：億円

<売上高>	2019年度	2020年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響除 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
住設事業 (日本)	4,361	4,168	▲193 (▲4%)	▲193 (▲4%)	4,030	+138 (+3%)
住設事業 (海外)	1,359	1,372	+13 (+1%)	+30 (+2%)	1,345	+27 (+2%)
新領域	242	258	+16 (+6%)	+18 (+7%)	253	+5 (+2%)
その他	3	2	▲1	▲1	2	+0
合計	5,965	5,800	▲165 (▲3%)	▲146 (▲2%)	5,630	+170 (+3%)

<営業利益>	2019年度	2020年度 修正計画	前年差 (前年比)	為替影響除 (前年比)	計画	計画差 (計画比)
住設事業 (日本)	253	207	▲46 (▲18%)	▲46 (▲18%)	160	+47 (+29%)
住設事業 (海外)	153	200	+47 (+31%)	+49 (+32%)	170	+30 (+18%)
新領域	▲4	7	+11	+12	5	+2
その他	▲34	▲24	+10	+10	▲25	+1
合計	368	390	+22 (+6%)	+24 (+7%)	310	+80 (+26%)

日本は減収減益、海外は増収増益、新領域は増収黒字化。

2021年3月期 修正計画

配当計画

	2019年度	2020年度 当初計画	2020年度 修正計画
中間	45.0円	30.0円	30.0円
期末	45.0円	30.0円	40.0円
年間計	90.0円	60.0円	70.0円
配当性向	64.6%	58.1%	49.4%

2020年度計画の上方修正を踏まえ、期末配当を40円へ修正。

このプレゼンテーション資料は、2021年1月29日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO